ひと

乗り合い車の運行を始めた きしろ社会事業会理事長 田尻 充さん

鎌倉市の二階堂地域は坂が多く、公共交通機関がないが、打開策はみえない。そこで、きしろ社会事業会では昨年10月から、デイサービスセンターのワゴン車を使った、無料の乗り合いサービスを始めた。交通弱者が引きこもりに陥らないようにという試みだ。

乗り合い車は火曜と金曜、京急バスの終点がある鎌倉駅から緑苑台、天園ならと周辺の住宅地を一巡して鎌倉宮に戻る。1日2便で始めたが、1月から3便に増やした。

鎌倉市社会福祉協議会の委員から、二階堂地域の民生委員から実情を聞かされた。同市関谷にある特別養護老人ホーム「鎌倉ブライエムきしろ」では、大船駅に送迎用のワゴン車に地域住民も乗せている。すでに定員し、年間延べ数千人が利用している。それと同じ発想だ。

同会は、宮崎県出身の実業家木代重行氏が戦後、社会事業業に乗り出し、兵庫県明石市に開いた本格的な有料老人ホームがルーツ。その娘、美知子さんと夫の田尻知己氏が、支部として、鎌倉市坂ノ下で有料老人ホームを始めた。1978年に独立して同会を設立、軽費老人ホームをはじめ次々に事業を拡大した。

充氏は知己氏の縁戚で、子どもがなかったお田尻夫妻の養子となった。東京で大学に通っていたころ、できたばかりの鎌倉ブライエムきしろに手伝いに来ないかと田尻夫妻に誘われた。もともと入相手の仕事がしたいとは思っていたが、高齢者との付き合い方もわからなかった。しかし、夏冬の休みに通ううちに、「ありがとう」と言ってもらえる仕事の魅力に気づいた。

初めて宿直した翌朝の光景が「驚愕だった」。寒い季節の朝5時、利用者がすでに起きて、テーブルなどに全利用者の世話を朝食までに終えたいという、施設の都合だった。「何とかこの状況を変えられないか」、そう思い業界に入る決意を固めた。

社会と使命制度が浸透した背景を明らかにする。3百円。

▽コレクション展「藤助さんと幕末」2月17日～3月24日。ペリー来航から記された「鈴木藤助日記」を中心に、近世から近代へ移り変わる時代の動きを紹介。無料。☎045・201・0926

▼蓄版 続・行人句抄展 2月2～12日（4日休廊）北鎌倉ギャラリー月。詩人・尾崎喜八没後50年記念の展示会で、鎌倉在住の版画家・山室眞二さん（84）が喜八の俳句20点に著版を添えた。喜八詩画集京画の展示も。☎22・2913

▼第60回新春書道展 2月21～25日鎌倉生涯学習センター。日本総合書芸院会員の漢字やかな作品展。学生部新年試筆優秀作品も展示。☎23・2100

▼松山バレエ団 新「白鳥の湖」鎌倉芸術館版 2月23日14時、鎌倉芸術館。16世紀のドイツ帝国を舞台に主人公の二人の姿が人々の心を動かし王国の歴史をよき方向へ導いていく様を描く。出演は森下洋子さんら。S席1万円、A席7千円、B席3千円。松山バレエ団☎03・3408・7939

◆S席2組4人に招待 申込はハガキに氏名・年齢・住所・☎を記入して1面題字下住所の鎌倉朝日へ。2月10日消印有効。

みる

洋画・日本画・版画また美術品の買取 致します ギャラリー伸 ☎24・4081

▼ジェラール・フィリップと忘れじの名優たち 4月7日まで川喜多映画記念館。2022年に生誕100年を迎えたジェラール・フィリップの関連資料を中心に同時代の名優たちの代表作を紹介。2百円、鎌倉市民無料。

【関連上映】「ジェラール・フィリップ最後の冬」2月10・11日10時半、10日14時、11日13時／「ジュリエット」12・16日10時半、14・17日14時／「花咲ける騎士道」15・18日10時半、12・16日14時／「赤と黒」14・17日10時、15・18日13時半／「どん底」27日・3月1日10時半、28日・3月2日14時／「フレンチ・カンカン」29日・3月3日10時半、27日・3月1日14時／「男と女」28日・3月2日10時半、29日・3月3日14時。▽J・フィリップと忘れじの盟友たち 2月11日15時、深田孝太朗さんと野崎歓さんの対談。

各円、小中学生5円。

▽日本映画の黄金時代、忘れじのスターたち「浮雲」2月22日10時半、25日14時／「嵐を呼ぶ男」22日14時、24日10時半／「眠狂四郎殺法帖」23日10時半、24日14時／「網走番外地」23日14時、25日10時半。各千円、小中学生5百円。☎23・2500

▼早春の風情―清方のことばとともに 2月27日まで鏑木清方記念美術館。春の訪れを告げる早春の風情を描いた作品を清方のことばとともに紹介。3百円。☎23・6405

▼称名寺の賢聖衆―如来、羅漢、菩薩 3月17日まで県立金沢文庫。称名寺所蔵の賢聖衆を現す宝物や仏具が伝える仏教信仰の背景を、国宝と重文を手掛かりに探る。4百円。☎045・701・9069

▼日本の巨大ロボット群像―巨大ロボットアニメ、そのデザインと映像表現 2月10日～4月7日横須賀美術館。近年までのロボットアニメにおけるデザインと映像表現の歴史を「メカニズム」と「ジュラエット」を軸に検証する。1300円。☎046・845・1211

▼芥川龍之介と美の世界―二人の先達―夏目漱石、菅虎雄 2月10日～4月7日県立近代美術館葉山館。芥川を中心とする漱石、菅の三人の交流関係に注目しながら、芥川の文学世界とその眼を通した美の世界を紹介。1200円。☎046・875・2800

▼神奈川県立歴史博物館▽令和5年度かながわの遺跡展「華ひら文律令の世界」2月3日～3月6日。時代を彩った出土品から、神奈川県内の古代社会と律令制度が浸透した背景を明らかにする。3百円。

▽コレクション展「藤助さんと幕末」2月17日～3月24日。ペリー来航から記された「鈴木藤助日記」を中心に、近世から近代へ移り変わる時代の動きを紹介。無料。☎045・201・0926

▼蓄版 続・行人句抄展 2月2～12日（4日休廊）北鎌倉ギャラリー月。詩人・尾崎喜八没後50年記念の展示会で、鎌倉在住の版画家・山室眞二さん（84）が喜八の俳句20点に著版を添えた。喜八詩画集京画の展示も。☎22・2913

▼芥川龍之介と美の世界 2月10日～4月7日県立近代美術館葉山館。芥川を中心とする漱石、菅の三人の交流関係に注目しながら、芥川の文学世界とその眼を通した美の世界を紹介。1200円。☎046・845・1211

▼日本の巨大ロボット群像―巨大ロボットアニメ、そのデザインと映像表現 2月10日～4月7日横須賀美術館。近年までのロボットアニメにおけるデザインと映像表現の歴史を「メカニズム」と「ジュラエット」を軸に検証する。1300円。☎046・845・1211

▼芥川龍之介と美の世界 2月10日～4月7日県立近代美術館葉山館。芥川を中心とする漱石、菅の三人の交流関係に注目しながら、芥川の文学世界とその眼を通した美の世界を紹介。1200円。☎046・845・1211

▼日本の巨大ロボット群像―巨大ロボットアニメ、そのデザインと映像表現 2月10日～4月7日横須賀美術館。近年までのロボットアニメにおけるデザインと映像表現の歴史を「メカニズム」と「ジュラエット」を軸に検証する。1300円。☎046・845・1211

▼芥川龍之介と美の世界 2月10日～4月7日県立近代美術館葉山館。芥川を中心とする漱石、菅の三人の交流関係に注目しながら、芥川の文学世界とその眼を通した美の世界を紹介。1200